



上富良野町「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、地球温暖化が要因とみられる気候変動の影響により、世界各地で猛暑や大雨、干ばつなどの異常気象が多発し、我が国においても各地で集中豪雨や台風の巨大化等による自然災害が頻発化・激甚化しています。今後、地球温暖化の進行に伴い、気候変動のリスクはさらに高まることが予測され、その対策は喫緊の課題となっています。

2015年に採択されたパリ協定では、「産業革命以前からの平均気温上昇を2℃未満とし、1.5℃に抑える努力をする」ことが世界全体の長期目標とされています。

日本においては、2020年10月の首相所信表明演説において、「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことが宣言されました。

加えて、2021年10月には、地球温暖化対策計画の改訂が閣議決定され、我が国の中期目標として、2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていくこととされました。

北海道においても国の方針と同様、2050年までの「ゼロカーボン北海道」の実現を掲げています。

上富良野町はこれまでも地球温暖化防止実行計画(区域施策編)に基づき、本町における環境問題の解決に向けた施策等の推進を図ってまいりましたが、地域の皆様と一層の連携を図りながら、国や北海道の目標達成の一助となるべく、また、国際社会の一員として、自然エネルギーの活用や省エネルギーの対策など、環境に配慮した取組をこれまで以上に進め、持続可能なまちづくりを実現していく必要があります。

上富良野町は、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和4年6月22日

上富良野町長

奇藤 繁